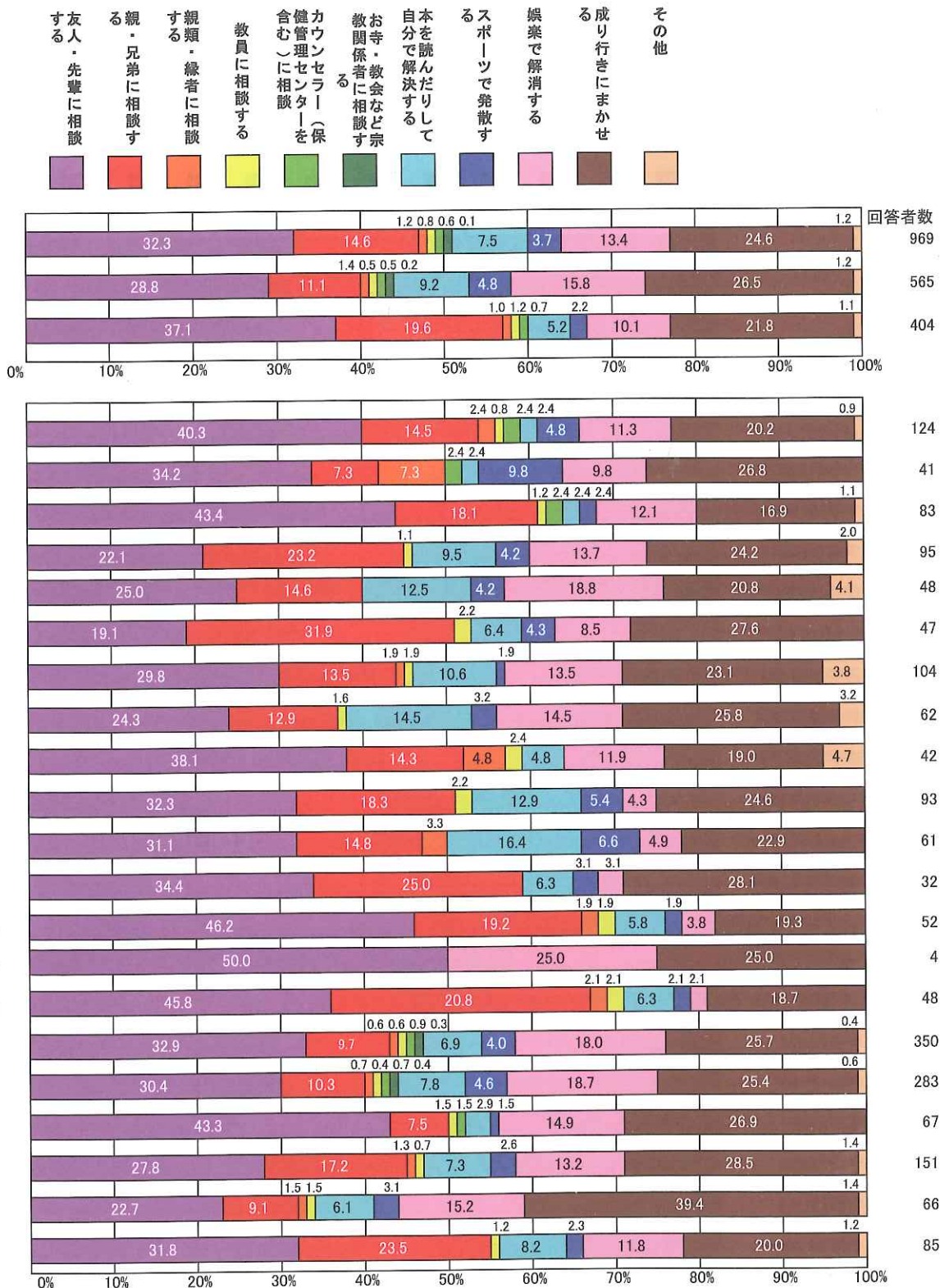


(9) 悩みの対処方法

問61 あなたは問題に直面したとき、どのように対処していますか、次のうちから最も多いものを1つ選んで教えてください。

問題に直面した時の対処について答えてもらった結果、もっとも多いのが、「友人・先輩に相談する」、次いで、「成行きにまかせる」、「親・兄弟に相談する」、「娯楽で解消する」、「本を読んだりして自分で解決する」、「スポーツで発散する」などとなっています。ストレス対処方法は個人個人異なっていますから、個人に適したストレス対処方法を身につけることが必要でしょう。

【図61】



問62 問61の質問で「11.その他()」を選択した方は、その内容を記述してください。

教育学部	男子学生	回答なし
	女子学生	・寝る。
法学部	男子学生	・自分で解決するようにする。 ・付き合っている相手に相談。 ・住まいの隣人との軋轢。
	女子学生	回答なし
経済学部	男子学生	・弁護士に相談した。 ・自分で努力する。
	女子学生	・誰とも関わらない。 ・自分で考える。
医学部 医学科	男子学生	回答なし
	女子学生	回答なし
医学部 看護学科	男子学生	回答なし
	女子学生	回答なし
工学部	男子学生	・何が一番プラス(自分の将来にとって)なのかを自分で考える。 ・自分で解決策を見つけられるまで考え続ける。それでも答えが見つからない場合、ネットで調べてみる ダメもとで行動にでてみる。駄目であった場合、ダメである理由を参考にして別の解決策を見つける。
	女子学生	回答なし
農学部	男子学生	・半分以上は自己解決。全てのことにに対して人に依存しないことを心掛ける。頼るにしても間接的に質問 意見を伺う。
	女子学生	・家族に愚痴を言う。

(10) 学内の友人関係

問63 あなたは本学内にどの程度付き合える友人がいますか(同性・異性を問いません)。

学内における友人関係に尋ねたところ、「ある程度親密に付き合える友人がいる」を選んだ学生が43.9%と最も多く、次いで、「互いに希望や悩みを打ち明けあい、心を許しあえる友人がいる」が41.5%、「一緒に話すが、それほど親密でない友人がいる」が9.9%、「あいさつを交わす程度の友人がいる」が3.4%、「友人はいない」が1.3%でした。友人関係における親密さの認知には、性別や学年により違いがあるかもしれません。友人関係が築きにくい学生に対しては、ソーシャルスキルトレーニングなどの教育的働きかけや、クラブやサークル等への参加を促すことが役立つでしょう。

[図63]

友人はいない
 あいさつを交わす程度の友人がいる
 ある程度親密に付き合える友人がいる
 互いに希望や悩みを打ち明けあい、心を許しあえる友人がいる
 一緒に話すが、それほど親密でない友人がいる
 1.3%
 3.4%
 9.9%
 43.9%
 41.5%

